

2030年度の温室効果ガス（GHG）削減目標の設定について

当社（東京都千代田区外神田四丁目14番1号 資本金：364億円 社長：関口 明）は、このたび、2050年度までのカーボンニュートラル達成^{*1}に向け、本日開催の取締役会における決議を経て、2030年度時点での温室効果ガス（以下、GHG）排出にかかる削減目標を設定しましたので、お知らせいたします。

《2030年度のGHG削減目標》

当社グループは、日本国内で排出するスコープ1および2^{*2}のGHG排出量を、2030年度に2013年度比で以下の通り、削減することを目指します。

なお、本目標は、日本政府が掲げる「2030年度において温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指す」ために策定された『地球温暖化対策計画』^{*3}の区分ごとの目標に準じています。

エネルギー起源	製造事業所で使用する 電力・化石燃料由来のCO ₂	38%以上削減（2013年度比）
	オフィス等で使用する 電力・化石燃料由来のCO ₂	51%以上削減（2013年度比）
非エネルギー起源	廃棄物由来のCO ₂	15%以上削減（2013年度比）

※ 本目標には、クレジット等の活用によるオフセットを含みます

- 海外事業所のGHG排出量については本目標の対象としていませんが、今後、モニタリングを進めながら目標の検討を進めていきます
- スコープ3^{*2}のGHG排出量は、実態把握の上で、今後目標への取り入れについて検討を進めていきます
- GHGの排出・削減状況については引き続きモニタリングを実施し、脱炭素に向けた国内外の政策動向や社会経済情勢等を考慮の上、必要と判断した場合には目標の見直しを行うことがあります

*1 2021年8月6日付当社リリース「DOWAグループの気候変動対応方針および長期目標の制定について」
<https://ir.dowa.co.jp/ja/ir/news/news20210806-01.html>

*2 スコープ1、2、3とは、GHGプロトコルが定める、事業者のGHG排出量算定報告基準における概念であり、以下を指す。
・スコープ1：当社自らの直接排出
・スコープ2：他社から供給された電気・熱などの使用に伴う間接排出
・スコープ3：スコープ1・2以外の間接排出（＝当社の活動に関連する他社の排出）

*3 地球温暖化対策推進法に基づく政府の総合計画（令和3年10月22日閣議決定）

この件に関するお問い合わせ先

DOWAホールディングス株式会社

経営企画部 TEL：03-6847-1106

E-mail：<https://ir.dowa.co.jp/ja/ir/contact1.html>